

はちのへ 市議会だより

平成22年6月定例会

No. 70

2010年(平成22年)7月20日発行



八戸市立柏崎小学校移転増改築工事が始まりました
6月24日、八戸市立柏崎小学校移転増改築校舎および
屋内運動場本棟工事ならびに関連工事の安全祈願祭が開
催されました。

(上) 八戸市立柏崎小学校 外観イメージ

(左) 安全祈願祭のようす

平成22年度八戸市一般会計補正予算などを可決

平成22年度6月定例会は、6月8日から6月22日までの15日間の会期で開かれ、平成22年度一般会計補正予算など、市長提出議案25件を可決して閉会しました。

- 主な議案**
- 平成22年度八戸市一般会計補正予算
 - 八戸市財産の交換、出資の目的等を行うことができる場合を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 - 市立柏崎小学校移転増改築校舎本棟工事請負契約の締結について

平成22年度6月補正予算

一般会計補正予算額 4億7,710万2千円 補正後の予算総額 822億710万2千円

- 主なもの**
- 女性特有のがん検診推進事業費 ……………35,200千円
 - グリーンニューディール基金事業費 ……………29,000千円
 - 八戸ポータルミュージアム関連事業費 ……………113,456千円
 - 第66回国民体育大会冬季大会青森県実行委員会負担金 ……………20,000千円
 - 学校施設耐震化経費 ……………100,000千円

編集・発行 八戸市議会 八戸市内丸一丁目1番1号 ☎ 43-2111 内線408

はちのへ市議会だよりは、市のホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp>

市政に対する 一般質問

財政、福祉行政、観光行政、環境行政、教育行政など、191項目の質問の中から質問議員1人につき1項目を取り上げ、要旨を掲載しました。

今後の観光振興は

無所属

三浦隆宏

【問い】 観光資源を分類し分かりやすくPRするフィールドミュージアム八戸構想の今後の展開は。
また、来年に芥川賞受賞五十周年を迎える三浦哲郎氏の顕彰と、B・1グランプリ発祥の地であることを利用したPRについて伺いたい。

【答え】 フィールドミュージアム八戸構想については、八戸ポータルミュージアム（はっち）を起点とした交通アクセスの紹介や既

存の観光資源の磨き上げを行い、観光情報ホームページやプログラムなどを利用してPRを図っていく。
また、三浦哲郎氏の顕彰およびB・1グランプリ発祥の地であることを利用したPRについては、現在活動している団体などと連携しながら、今後の取り組みについて検討していきたい。

地域に対する帰属意識の希薄化に伴う影響は

民主クラブ

石橋 充志

【問い】 地域に対する帰属意識の希薄化が懸念されているが、現状での課題認識と影響、および今後の取り組みについて伺いたい。

【答え】 近年、町内会をはじめとする地域コミュニティが担う役割の重要性が再認識されている。
一方で、町内会加入率の低迷や高齢化による担い手不足など、地域住民の参加・協力が必ずしも得られていない現状があり、地域に対する帰属意識の希薄化の表れであると認識している。

このため、これまで住民同士の助け合いなどによって支えられてきた地域の安全・安心や環境美化

などの公共的サービスへの影響が懸念されることから、地域コミュニティ振興施策をさらに強化し、住民意識の高揚を図っていく。

六十五歳以上の障がい者に対する対応状況と今後の方策は

社民党・市民連合

山名 文世

【問い】 六十五歳以上の障がい者が、障害福祉サービスから介護保険サービスに移行する際の対応状況と、今後の方策について所見を伺いたい。

【答え】 市ではこれまで、介護保険サービスが優先されることについて、六十五歳以上の障害福祉サービスの利用者のうち、介護保険への移行が容易と思われる身体障がい者には文書で案内し、知的および精神障がい者には、窓口での相談により、要介護認定の申請を促してきた。
現在は、窓口などで、全て直接会って相談を受ける形に改善し、制度について十分説明し、障がい特性と個別の事情を勘案するとともに、本人および家族の意向も尊重し支援しており、今後も引き続き、より良い支援に努めていく。

漁撈民俗資料の

今後の保存活用策は

民主クラブ

下田 保夫

【問い】 漁撈民俗資料は、国の重要有形民俗文化財指定から十七年も経過しているが、今後どのように保存活用していくのか。
また、大久喜地区へ保存活用施設を整備する見通しを伺いたい。

【答え】 同資料は、一部を市博物館に常時展示し、また、昨年は特別展「八戸のみなど」に展示するなど、広く市民に紹介してきており、今後も、博物館展示のリニューアルなどにおいて一層の活用を図り、伝承に努力していく。
保存活用施設については、大久喜地区に、空調設備などの整った施設が必要であると十分に理解しているが、厳しい財政状況などを考慮すると、建設年度を特定することは難しいと考えている。

ドクターヘリ二機体制の

有効性と実現可能性は

無所属

伊藤 圓子

【問い】 来年度の県に対する最

重点要望として、ドクターヘリの市民病院での運航続行、県での二機体制を掲げているが、その有効性と実現可能性について伺いたい。

【答え】 ドクターヘリは、半径五〇km圏内に一機ずつ配備するのが望ましいとされており、仮に県立中央病院と市民病院との二機体制とした場合、県内のかんりの範囲をカバーできることになる。

また、他道県では、二機目、三機目の導入により、一機目の出動件数が落ち込むわけではなく、全体の出動件数が大きく増加していることから、二機目導入の早期実現に向け、県へ要望していく。

片町朝市の新たな

移転先選定についての支援は

公明党

夏坂 修

【問い】 古くから市民に親しまれてきた片町朝市の新たな移転先選定について、どのように支援していくのか伺いたい。

【答え】 片町朝市の移転については、新たに組織された街の朝市会から、(社)八戸観光コンベンション協会に協力の要請があり、市も新たな開催場所を検討している。

また、開催場所の選定については、地元住民の理解や騒音、駐車場などの問題を考慮し、警察や保健所など関係機関と十分な協議が必要となってくることから、市としては、これらの各種法的手続きや関係機関との協議について、同協会とともに連携を図りながら支援していきたい。

桔梗野工業用地造成事業の経営健全化計画への対応は

社民党・市民連合
松橋 知

【問い】 桔梗野工業用地造成事業の経営健全化計画における年間二億円の財政支援について、どのように対応するのか伺いたい。

【答え】 市が本年度から毎年二億円を負担するという経営健全化計画案は、市への事前協議がないまま、青森県新産業都市建設事業団が一方的に策定したものである。市からの財政支援を前提とする

同計画の実現には、市議会の議決が必要となるため、同事業団の理事会で可決されたからといって、市の財政負担が生じるとは認識していないことから、現段階では、財政支援の予定はない。

東部終末処理場敷地内に山車小屋を暫定移転した経緯は

民主クラブ
田中 満

【問い】 青葉地区の山車組が江陽地区の東部終末処理場敷地内に移転した経緯は。

また、小・中学校の校庭を利用して、山車小屋を設置できないか伺いたい。

【答え】 市では、山車小屋を確保することが困難な山車組に対し、青葉地区学校予定地を山車製作場所として提供してきた。

しかし、昨年八月、同予定地が柏崎小学校建設地に決定したことにより、移転先として、市有地数カ所で協議を進め、現在、江陽地区の東部終末処理場敷地内で山車を製作している。

また、学校の校庭利用については、児童生徒の授業や部活動などへの支障や、安全確保の観点からも非常に難しいと考えている。

改革型漁船の現状は

自由民主クラブ
島脇 一男

【問い】 漁船の老朽化が進む中、

改革型漁船の取り組みが難しい実情にあると思うが、全国および八戸港の状況を伺いたい。

【答え】 全国の改革型漁船の状況は、主として大中型まき網漁船の改革が先行して進められている。当市では、八戸地域プロジェクトが立ち上がり、平成二十年四月から改革型まき網漁船が操業を開始しており、これ以外にも、当市で水揚げしている漁船では、宮城県二隻、茨城県一隻がハサブ対応型で建造されている。

同プロジェクトでは、現在、新たな大中型まき網漁業と小型底びき網漁業の改革計画が検討されており、また、主力漁業であるイカ釣り漁業でも、今後検討することとしていることから、市としても、この協議に積極的に参画していく。

南郷区における葉たばこ生産の現状および今後の支援策は

自由民主クラブ
壬生 八十博

【問い】 県内有数の葉たばこ産地である南郷区では、たばこ税の増税による生産活動に与える影響が懸念されるが、葉たばこ生産の現状と今後の支援策について伺い

たい。

【答え】 当地区の葉たばこ生産実績は年々減少する傾向にあるため、市では、本年度、葉たばこ振興対策事業補助金を予算化し、葉たばこ生産者の生産および経営安定に向け支援することとしている。最近、たばこ消費の減少で葉たばこ生産をめぐる状況は厳しさを増しており、今後、(株)日本たばこ産業の動向を注視しながら、関係団体および生産者のニーズに即した支援策を検討していく。

学校給食における

米粉パンの使用状況は

日本共産党議員団
畑中 哲雄

【問い】 米粉パンの使用は県産米の消費拡大につながると思うが、学校給食における使用状況について伺いたい。

【答え】 当市の学校給食では、平成十八年度より、県産米五〇％、外国産小麦粉五〇％を原料として作られた米粉パンを提供しており、子どもたちから好評を得ている。本年度は、年五回提供する予定となっており、今後も、米粉パンや米飯などの提供により、県産米

の消費拡大に努めるとともに、地場産品の活用により学校給食の充実を図っていく。

地域密着型サービス外部評価制度における県の実施要領改正に対する市の対応は

日本共産党議員団
松田 勝

【問い】 地域密着型サービスを提供している小規模多機能居宅介護事業所などが受けなければならない外部評価について、県の実施要領が改正されたことによる今後の対応を伺いたい。

【答え】 県では、本年四月、実施要領を改正し、同事業所が年一回受けることになっている外部評価を、同事業所が開催する運営推進会議に市または地域包括支援センター職員が必ず出席していることなど、一定の要件を満たす場合は隔年で受けられることとした。

しかし、当市では、合計二百二十八回の会議出席が必要となり、対応に苦慮しているため、本年五月、県に要件緩和を要望したところであり、今後も、当市と同様の県内の他自治体と連携を図りつつ、要件緩和の実現に努めていきたい。

環境に配慮した畜産振興を

自由民主クラブ

森園 秀一

【問い】 畜産事業者の誘致のため、青森県環境影響評価条例における畜産施設の規模要件見直しと、環境面における対応策について伺いたい。

【答え】 これからの畜産業は、悪臭などの公害防止対策が必要であり、その施設整備にかかる費用回収には、規模拡大によるスケールメリットの追及が必要であると認識している。

このことから、市としても、県に対し同条例の規模要件見直しを働きかけるとともに、畜産事業者に対しては、国・県の制度を活用した臭気対策施設の整備を推進し、地域の特徴を生かした畜産振興に取り組んでいきたい。

桔梗野工業用地造成区域

選定の妥当性は

無所属

坂本 眞将

【問い】 桔梗野工業用地造成区域を、当初の計画区域から変更したことについての妥当性と、その

変更を止めることはできなかったのか伺いたい。

【答え】 当初の計画区域は、県道に隣接する用地が多く、住宅、工場、変電所などがあり、買収価額、補償金額などの費用がかさむという理由で、青森県新産業都市建設事業団から変更の申し出があり、協議の結果変更されたと理解している。

この変更に伴い新たに編入された区域についても、工業用地として活用できるものと理解して了解したものと考えており、同事業団の提案であったことから、基本的に了承したものである。

公共交通へ財政支援をする

ことの説明責任は

自由民主クラブ

藤川 優里

【問い】 公共交通を維持するため、市民へ財政支援の必要性を説明し、さらなる協力を得ることが必要と考えるが、所見を伺いたい。

【答え】 生活支援の公共交通を維持・再生するためには、単なる欠損補助ではなく、投じた公費がより多くの市民に還元される公共交通政策が必要と考えている。

このため、昨年三月に策定した八戸市地域公共交通総合連携計画に基づき、より多くの市民に使ってもらえる利用しやすい公共交通を実現する施策に取り組むなどしており、今後は、この計画などを踏まえ、政策的に財政支援することについて、公聴会などを通じて説明責任を果たすよう努めていく。

桔梗野工業用地造成事業に

対する責任は

民主クラブ

寺地 則行

【問い】 桔梗野工業用地造成事業の負債について、事業者である青森県新産業都市建設事業団の責任の所在をどのように考えているのか伺いたい。

【答え】 責任の所在については、負債の最大の要因である工業用地内に軟弱地盤地が存在したことに関係してくるが、いまだになぜ、同工業用地内に軟弱地盤地が存在したか明確になっていない部分もあることから、現在、県・事業団・市との三者で経緯などについて確認を行っている。

が負債を処理するにあたって、関係団体がどのように支援していくかというのが基本的な問題の構図であると考えている。

議員表彰

長年にわたり市政の振興に貢献のあった次の議員が、表彰を受けました。

全国市議会議長会

市議会議員二十年以上在職

秋山 恭寛 議員

市議会議員十五年以上在職

松橋 知 議員

寺地 則行 議員

越後 賢司 議員

感謝状

全国市議会議長会

○地方分権改革・道州制調査特別委員会副委員長

山口 広道 議員

○地方分権改革・道州制調査特別委員会副委員長

○社会文教委員会委員

大館 恒夫 議員

請願・陳情の審査結果

継続して審査するもの

▽最低賃金の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める陳情

▽永住外国人への地方参政権付与に反対する意見書提出を求める陳情

▽備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める陳情

▽EPA・FTA推進路線の見直しを求める陳情

市議会を傍聴しましょう

本会議、常任・特別委員会、常任委員会協議会および議員全員協議会は、どなたでも傍聴することができます。

また、車いすの方は、市庁本館三階議会で、本会議のテレビ視聴ができます。

六月定例会では、八十一人の傍聴者がありました。

次期定例会は、九月に開催します。なお、六月定例会の会議録は、九月に発行する予定です。